

# 2024 年度 工学院大学園祭実行委員会八王子祭実行部

総括

工学院大学園祭実行委員会八王子祭実行部

部長 原 直路



## 1. 組織構成

学園祭実行委員会八王子祭実行部は、部長、副部長、会計の三役に加え、渉内局、渉外局、アルケータ局、コンサート局、広報局、資材局、イベント局、企画局の計8局、2年生53人と1年生52人で構成される。

## 2. 方針

本実行部は、本学学生と参加団体に重きを置き、本実行部員の人材を最大限に生かし、八王子祭を企画・運営し、八王子祭を盛り上げることで、工学院大学全体を盛り上げる。2024年度は、世界観の創造・広報活動の二点に力を入れる。八王子祭の最初から最後まで非日常感を感じられるように八王子キャンパスの特性も生かしながら、キャンパス全体をテーマで包み込む。また広報活動の拡大によって、八王子祭の来場者数を増加させ、大学の広報、企業との関係性の発展を図る。さらに来場者を様々なコンテンツへ円滑に誘導し、八王子祭を全て楽しんでもらい、全体の盛り上げを底上げする。さらに、新宿祭実行部と協力し、2つの学園祭で成功を収める。

## 3. 目的

### (ア) プレ八王子祭

学生と近隣住民と本実行部の繋がりを強め、八王子祭の広報をし、八王子祭の集客率を上げると共に、本実行部員に企画・運営の基礎を作らせ、八王子祭の発展に寄与する。

### (イ) 八王子祭

外部企業との協力関係をより強固なものにし、学園祭の広報をすることにより、大学の広報に繋げる。さらに参加団体の発表の場を発展させ、大学の広報に寄与する。またキャンパスを、テーマによる世界観で、来場者が世界観の中で楽しめる環境を作り、八王子祭を運営する。

### (ウ) 新宿祭

新宿祭実行部だけでは運営をすることができない部分を、本実行部で補う。さらに、1年生が企画を行うことで、新宿祭をより良いものにし、連携を強める。

## 4. 活動内容

### (ア) 全体会議

毎週水曜日に本実行部員を集め、情報共有を主にする場として開催した。情報共有の際、視覚的に工夫を施し、局間での情報の差異を無くし、実行部員全体の意識を統一させた。

### (イ) プレ八王子祭

主に本学学生と近隣住民を対象として開催した学園祭である。ステージ企画や常設型企画を実施し、学生団体が出店する模擬店を運営し、プレ八王子祭全体を盛り上げた。ステージ企画では、学生自治会常任委員会八王子支部と学科連合委員会八王子支部との協力体制を築き、各団体の特色を活かした企画を実施した。また、プレ八王子祭

終了後から始まる歩け歩け大会との、相互作用によりプレ八王子祭と歩け歩け大会の双方を盛り上げた。さらに、本実行部1年生が発表の場を経験することで本委員会の委員としての自覚を持たせ、かつ、本実行部員が学園祭の運営を経験することで八王子祭の質を底上げすることができた。これらの取り組みにより八王子祭の集客につながることができた。

### (ウ) 歩け歩け大会

プレ八王子祭終了後の深夜0時から、八王子キャンパスを起点として新宿キャンパスまでの43kmを歩く企画を開催した。本大会では、参加者が助け合い歩くことで、仲を深め、今後の学生生活の糧となるように企画した。さらに工学院大学の名を外部に発信することで大学の広報に繋げることを目的とした。2024年度の参加者は100人であり、コロナ禍前に迫る参加人数となった反面、参加者増加に対応できる運営基盤を満足に築くことができなかった。この点に関しては、2024年度の反省点や蓄積したノウハウを2025年度に引き継いでいくことで改善していく。

### (エ) 八王子祭

八王子祭では来場者に最大限楽しんでもらうことを前提に、世界観の創造と広報媒体と連携した統一感のあるテーマの表現に注力し、例年より1ヵ月早い9月7日、8日に第62回八王子祭を主催した。2024年度は「シンガーズハイル」によるアーテイストライズ、「ジェラードン」と「go!皆川」によるお笑いライズ、キャンパスコモンでの特設ステージ、セクターモールとメイソストリートでの模擬店、2号館での第2ステージ、1号館と15号館での教室展示、2種の常設型企画、15号館2階でのゲーム企画を開催し、東門、受付門、装飾の制作を行った。アーテイストライズは760人、芸能企画は461人の動員となり、どちらもコロナ禍明け最大規模での開催となった。また、今年2回目の開催であるゲーム企画は各大会満席、若しくは8割近々の出場者を動員し、多くの観戦者が来場した。また、各所に飾られた装飾や各受付門、過去最大規模の東門により、八王子祭の雰囲気味わってもらったことが出来た。2024年度は、2023年度を上回り、コロナ禍明け最大規模である3665人の来場者に八王子祭を堪能していただいた。

### (オ) 新宿祭

新宿祭のステージ企画にて、本実行部1年生がゼロから企画を計画し制作する一連の流れを経験することで2025年度に繋げることができた。また運営面では、新宿祭実行部と協力することで、新宿祭の発展に貢献し、2025年度以降の新宿祭実行部との協力体制を強化する一因とすることができた。

## 5. 総括

2024年度の八王子祭は、準備期間から新型コロナウイルス感染症による影響が全くない完全開催となり、変わりゆく時代に沿った形態の八王子祭を模索することができた。また過去最大に迫る来場者数の達成をすることで、より多くの人に八王子祭を還元することができ、2025年度以降更なる発展をする基盤を構築した。

以上を2024年度学園祭実行委員会八王子祭実行部の総括とする。